

観覧料改定のお知らせ

2019年6月6日(木)より、本館展示観覧料を左記のとおり改定いたしました。なお、特別展示観覧料はその都度、別に定めます。何卒、よろしくお願ひ申し上げます。

一般	大学生	高校生以下
580円	250円	無料

各種割引等につきましては、みんなくホームページをご覧ください。

特別展

「驚異と怪異——想像界の生きものたち」なぜ人類は、この世のキワにいるかもしれない不思議な生きものを思い描き、形にしてきたのか？ 奇妙で怪しい、不気味だけどかわいい、世界の霊獣・幻獣・怪物が大集合！ 現代のアート・イラスト・漫画家・ゲームデザイナーたちによるクリエーター制作も紹介し、妖怪やモンスターの源泉にある想像と創造の力を探ります。



トッピラク (グリーンランド)

会期 11月26日(火)まで  
会場 特別展示館

■関連イベント  
ナレッジキャピタル超学校  
「みんなくxナレッジキャピタル 想像界の奥へ」  
第2回  
「常ならざる音」  
「見えないものを展示する」

日時 10月8日(火)19時〜20時30分  
(受付開始18時30分)  
会場 CALLEO(グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル1階)  
登壇者 山中由里子(本館教授)

※要事前申込(定員50名 中学生以上、要ドリンク代5,000円)  
ナレッジキャピタル超学校  
「みんなくxナレッジキャピタル 想像界の奥へ」  
第3回  
みんなく特別展示ツアー  
特別展「驚異と怪異——想像界の生きものたち」見学ツアー

実行委員長が特別展の見どころ、裏話を熱く語りながらご案内します。  
日時 10月20日(日)11時〜12時30分  
(受付開始10時30分)  
会場 特別展示館ほか  
※要事前申込(定員30名 中学生以上、要特別展示観覧券(団体料金))

みんなく映画会「第46回みんなくワールドシネマワンダーストラック」  
異なった時代を生きた少年と少女が、数々の困難を乗り越えて、ニューヨークの自然史博物館で驚きと幸せの一瞥に出会い、運命に導かれていく姿を描いたアメリカ映画。美しい映像世界の中で博物館の始まりについて考えたいと思います。



PHOTO: Mary Cybulski

日時 11月9日(土)13時30分〜16時  
(開場13時)  
会場 本館セミナー室  
司会・解説 山中由里子(本館教授)  
※メイン会場が満席の場合は中継会場をご案内します。  
※申込不要、要展示観覧券(定員先着200名)  
※参加券を11時からインフォメーション前(本館1階)にて配布します。



生命の木

■関連イベント  
研究公演  
「ソング・ハローチヨ」  
「国境を越えるメキシコの歌」  
メキシコの伝統音楽ソング・ハローチヨを、アメリカのロサンゼルスで活動するグループ「カンパラチエ」を招きご紹介いたします。  
日時 10月27日(日)  
13時30分〜15時45分開場13時  
会場 本館1階エントランスホール  
※申込不要、参加無料(定員300名)

親子deワークショップ  
「メキシコのパンづくり」  
「死者のパン」  
日時 10月20日(日)14時〜16時  
11月24日(日)14時〜16時  
会場 本館職員食堂、企画展示場  
講師 エルサ・マルティネス(メキシコ料理研究者)、小林貴徳(関西外国語大学助教)、鈴木紀(本館教授)  
※要事前申込(定員各日9組)、参加費5,000円(材料費、保険料)、要展示観覧券  
※受付期間  
10月20日(日)実施分:10月2日(水)まで  
11月24日(日)実施分:11月6日(水)まで  
ギャラリートーク  
日時 10月17日(木)、10月31日(木)、11月7日(木)、11月21日(木)、12月5日(木)、14時  
場所 本館企画展示場  
講師 鈴木紀(本館教授)  
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

●みんなく無料シャトルバスのご案内  
大阪モノレール「万博記念公園駅」とみんなくとの間の直通送迎バスを特別展「驚異と怪異」の会期中に運行します。  
運行日 11月26日(火)までの土曜・日曜・祝日  
祝日  
1日11往復、所要時間10分、無料  
運休日 平日、11月2日(土)、3日(日)、4日(月・休)、16日(土)、17日(日)  
※万博記念公園にてイベントが開催される場合は臨時に運休することがあります。詳細はみんなくホームページをご覧ください。  
※各イベントについてくわしくは、みんなくホームページをご覧ください。  
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時〜17時(土日祝を除く)です。

みんなくゼミナール

日時 10月19日(土)13時30分〜15時(開場13時)  
会場 本館セミナー室  
※メイン会場が満席の場合は中継会場をご案内します。  
※申込不要、参加無料(定員先着200名)  
※参加券を12時30分からインフォメーション前(本館1階)にて配布します。  
第496回  
珍獣・霊獣・幻獣・怪物  
——人はなぜモンスターを想像するのか？  
講師 山中由里子(本館教授)



ソロモンと百獣、ニザミー「五部作」写本口絵 (イラン)

みんなくウィークエンド・サロン 研究者と語る

本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」「調査している地域/国の最新情報」「みんなくの研究資料」について分かりやすくお話しします。  
10月6日(日)14時30分〜15時 特別展示館  
——想像界の生きものたち——を巡って  
話者 笹原亮二(本館教授)  
10月13日(日)14時30分〜15時 南アジア展示場  
ガンディーの携帯用紡ぎ車  
話者 三尾穂(本館教授)  
10月20日(日)14時30分〜15時 本館ナビひろば  
インドにおける異形の神々  
話者 松尾瑞穂(本館准教授)

刊行物紹介  
■中牧 弘允、日置 弘一郎、竹内 恵行 編  
『テキスト 経営人類学』  
東方出版 2,000円(税別)

大学共同利用機関の根幹的な機能である共同研究から、文化人類学の「学派」が誕生しました。利潤や株主配当を優先させるような会社理解に対して学問的に「待った」をかけました。そこでは「多様な解釈」に基づく文化的な存在としての会社が描写されています。「経営人類学」初のテキストです。

■吉岡 乾 著  
『現地嫌いなフィールド言語学者、かく語りき。』  
創元社 1,800円(税別)

多様性の大切さが説かれ始めている昨今の世の中、フィールドが嫌いなフィールド研究者が居てもいいじゃないか。そういう気持ちで心情を吐露しつつ、ついでに言語学や言語を紹介する、全篇書き下ろしエッセイ集。

国立民族学博物館友の会 電話 06-6877-8893 (9時〜17時、土日祝を除く) FAX 06-6878-3716  
https://www.senri-f.or.jp/minpaku\_associates/ E-mail minpakutomoto@senri-f.or.jp

友の会

友の会講演会  
会場 本館第5セミナー室(当日先着順・定員96名)  
※会員無料(会員証提示)、一般5,000円  
10月の友の会講演会は第2土曜日に開催します。  
第493回 10月12日(土)13時30分〜14時40分  
「特別展「驚異と怪異——想像界の生きものたち」関連対談 幻獣！——そこに、在る、不思議な生きもの」  
話者 湯本豪一(妖怪・幻獣研究者) 山中由里子(本館教授)  
※講演会終了後、特別展の見学をお楽しみください。展示場内で話者が質問にお答えします。入館には、会員証もしくは特別展示観覧券が必要です。本講演会にご参加の維持会員、正会員の方は、無料で入館いただけます。  
第494回 11月2日(土)13時30分〜14時40分  
マウシムを生きたる人びとの歴史  
19世紀ヘルシア湾の生業、交易、移動  
講師 鈴木英明(本館助教)  
マウシムとはアラビア語で季節を意味し、「モンスーン(季節風)」の語源にもなっています。紀元後1世紀半ばの『エリュトラ海案内記』にも登場するモンスーンは、ただ航海時期と交易の季節を定めるばかりでなく、その影響下にある人びとの生業や航海活動に留まらない人びとの移動の時期も定めていました。本講演では特に19世紀のヘルシア湾に焦点を当て、季節風と人びとの生業、交易、移動とがどのように連動しているのか、そしてそれが今日どのように残っているのかを考えます。  
※講演会終了後、講師を囲んで懇談会をおこないます(40分)。  
みんなく満喫！3カ月！  
国立民族学博物館友の会体験会員のご案内  
展示も催しも刊行物も、みんなくをじっくり楽しんでいただける期間限定の体験プランをご用意しました。みんなく友の会正会員と同様のサービスを3カ月間ご利用いただけます。登録期間中「月刊みんなく」を4冊お届けします。  
申込締切:10月20日(日)(要登録費用)

